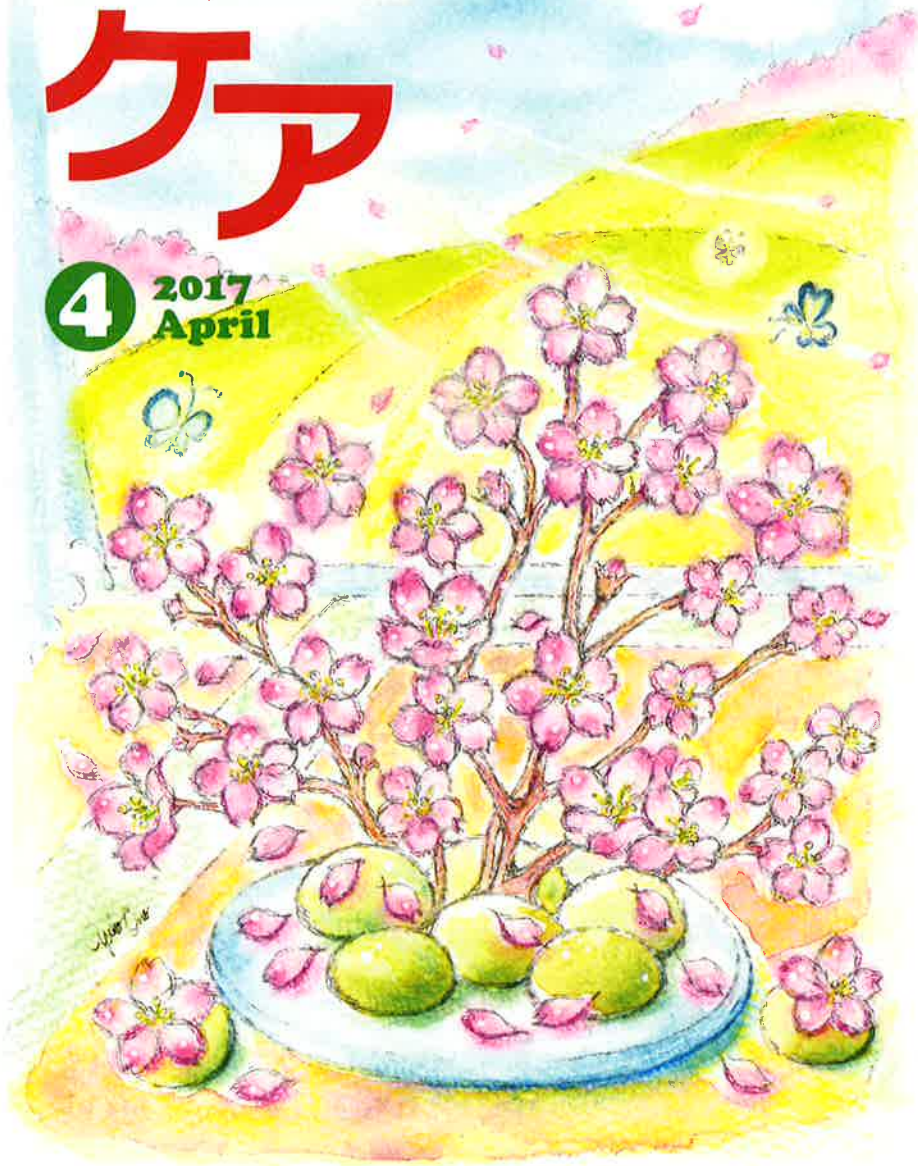


暮らしと健康の月刊誌

ケア

4 2017
April



特集

- 薬剤耐性菌 ●変形性肘関節症
- 脳ドックのすすめ
- 高齢期の住まい ●フレイル

がわらばん

病棟スタッフのモチベーション 高める「フィッシュ哲学」

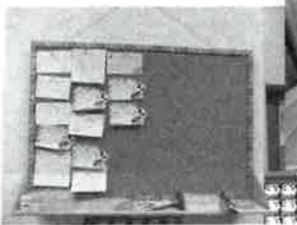
西堀病院

西堀病院(函館市)では「フィッシュ哲学」を導入し、スタッフ間のコミュニケーションの向上や離職防止などに効果を上げていることから、ケアワーカーにも取り組みを広げ、明るい職場環境作りに努めている。

フィッシュ哲学とは、もともとアメリカの魚市場で売り上げの向上に向け、まずは自分たちの職場から明るく変革していくことに取り組み、成果を上げたことが発端。①注意を向ける(お客さん一人一人に注意を向ける)②態度を選ぶ(ポジティブな姿勢で働くこと)③仕事を楽しむ(お客さんを楽しませる)④遊ぶ(遊び心を忘れず、自ら仕事を楽しむ)、の4項目が基本的な考え方という。



休憩室やナースカウンターに設置されたボードに寄せられた「サンキューカード」



看護部では3年程前から導入に取り組み、「休憩室のボードにスタッフの誕生日を記載し、お祝いの声掛けをしたり、スタッフへの感謝の気持ち」を「サンキューカード」に表すなどの活動を行ってきた。

ました。活動を継続することで、スタッフ間のコミュニケーションやチームワーク、モチベーションが向上するなど職場の雰囲気も変わりました」と加藤豪師長。看護部での定着が進んでいることからケアワーカーにも活動を広げ、休憩室やナースカウンターに設置されたボードには、ケアワーカー同士や看護師からケアワーカーにお礼のメッセージが寄せられている。

病棟全体の雰囲気が活気づく中で、今後は患者さんに向けての取り組みとしてつなげていきたいと、加藤師長は話す。

気軽に検査を ミニドックが好評

帯広第一病院

帯広第一病院(帯広市)は、期間限定のミニドックを4月28日まで開催している。通常の間ドック

がわらばん

クコースを一部変更し、特別料金で行っており、日頃、健診を受ける機会の少ない専業主婦や若年層の人たちでも受けやすいと、好評だ。

同病院の間ドックは年間4000人前後の受診者が利用しているが、そのうち3〜4月は年度の入替わり時期であることから、企業ドックの受診者が一時的に減少している。

こうした閑散期を利用した取り組みとして、2003年度から期間限定ミニドックを設定した。料金は2万円で、診察、検尿、検便、採血、血圧、身体測定、視力、体脂肪率、心電図、胸部エックス線、腹部エコー、胃部検査、医師の結果説明、保健指導、栄養指導などを受けられる。また、検査終了後には、ドック専用の食事が提供される。

オプショナル検査として、腫瘍マーカー検査、ヘリコバクターピロリ菌検査なども用意している。

地域住民対象に バックヤードツアー

手稲溪仁会病院

手稲溪仁会病院(手稲区)は、



調剤作業時の安全管理について薬剤師から説明を受ける参加者

地域住民を対象に病院バックヤードツアーを初めて開催した。

中学生から60代までの住民が参加。MRI装置やその診断画像、薬剤部の調剤業務、手術室の様子、CE部の医療機器管理の様子を見学。成田吉明院長による「がんの罹患年齢とがん検診の適齢期」についての健康セミナーも開かれた。

参加者アンケートでは「現場での実際のチーム医療が見られた」「薬の管理など安全に対する取り組みを目にするので安心してできた」といった感想から、将来看護師を目指している高校生からは「看護師になったら、この病院で働きたい」といった声もあったという。

地域に開かれた病院を目指し、今後も続けていく考えだ。

地下歩行空間で 展示イベント

認定NPO法人 葬送を考える市民の会

心のこもった送り方・送られ方などを考え情報提供やサポート活動を行っている認定NPO法人葬送を考える市民の会では3月2、3日の2日間、札幌の地下歩行空間で「自分らしい旅立ち方を考えてみませんか」～あなたの終活をサポートします～と題した展示を行った。

展示イベントは同法人の活動を広く一般の人に知ってもらうことを目的とし、会の活動内容をはじめ、葬儀や埋葬方法に関するパネルが展示された。さらに同会の活動の一つである「旅立ちの衣装」も展示。旅立ちの衣装とは、人が亡くなったときに着せる衣装のこと。同会理事の齋藤弘美さんが主宰する楽楽染工房では着物からリフォームして作る旅立ちの衣装の講習を随時開催している。

「親が亡くなったときに着せた死装束は、その人らしくなくて今でも心残りという話はよく聞かれ